

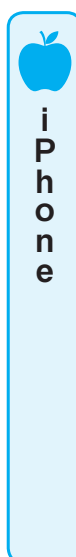


英数字や記号の半角・全角とは？ どのように使い分ける？

A 特に理由が
なければ半角を
使う

スマホやタブレットの英字・数字・記号は、同じ文字でも「半角」と「全角」の2種類があります。半角は文字の横幅が高さの半分で、おもに横書きでわれます。そして全角は横幅と高さがほぼ同じで、主に縦書きで使われます。

半角文字は世界中の機器で表示できますが、全角文字は日本をはじめとするアジアの一部の国と地域の機器でしか表示することができません。また、「ID」「パスワード」「URL」「メールアドレス」などは半角です。そのため、アスキーアートや顔文字を描くなど、特に理由がなければ英字・数字・記号は半角を使いましょう。



1 半角と全角の違い

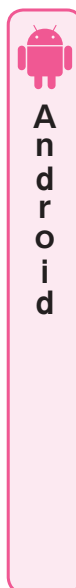


英大文字の「Q」の例。上が半角、下が全角です。全角のほうが幅が広いことがわかります。

2 全角文字の入力方法



テンキーで英字を入力するモードにします(20ページ2参照)。ここで、入力したい英字を入力すると、変換候補に小文字・大文字それぞれの半角・全角が表示されます。



1 目的の英字を入力する



英字入力モード(22ページ2参照)で入力したい英字を入力したあと、「全角大小」をタップしましょう。

2 候補から文字を選択する



すると、候補に「半角大文字」「半角小文字」「全角小文字」「全角大文字」が表示されるので、入力したい文字をタップします。

音声認識入力とは、マイクに向かって話した内容をそのまま入力できる技術のことです。ソフトキーボードによる入力よりも苦手とか、手がふさがった状態で入力したいような場合に便利です。

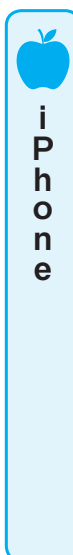
入力のコツは、一語一語ハッキリと話すこと。人と普通に会話するときのように話してしまふと、認識されにくくなります。記号は、「。」は「まる」のように、その記号の名称を発声しましょう。

なお、人前で音声入力するのが恥ずかしい場合は、スマホを耳に近づけて「電話しているフリ」で話すと、少しは目立たなくなるかもしれません。

A 音声認識入力を 使う



キー入力が苦手なので
話したことをそのまま入力したい

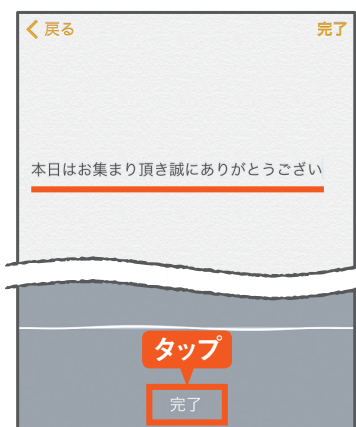


1 音声入力を開始する

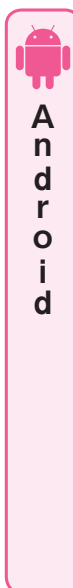


文字を入力したい場所をタップし、ソフトキーボードにあるマイクのアイコンをタップしましょう。

2 マイクに向かって話す



マイクに向かって話すと順に認識されて、入力されていきます。「完了」で音声認識入力を終了させます。



1 音声入力を開始する



文字入力を開始し、ソフトキーボード左下の「あ A1」を長押しし、表示されたウィンドウの下部にある「Google 音声入力」をタップしましょう。

2 マイクに向かって話す



マイクに向かって話すと、認識された順に入力されていきます。画面左下の「V」をタップすれば終了します。



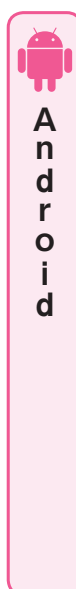
読み方のわからない漢字を入力するにはどうすればいい？

A Androidの手書き入力を使う

読み方のわからない「単語」は、別の読み方で入力するという方法があります。たとえば「刈穫」が読めない場合は「かる」と「とる」で入力するなどです。また「臚」のように読みがまったくわからない漢字があった場合も、「つくり」から類推して「ろ」で変換すれば見つけることができます。

困るのは、読みが類推すらできない漢字の場合。Androidなら、指で画面上にその文字を書く「手書き入力」で入力することができます。

見かけた漢字の読みがわからない場合に、「手書き入力した漢字を検索して読みを調べる」といった使い方もできます。



1 手書き入力モードにする



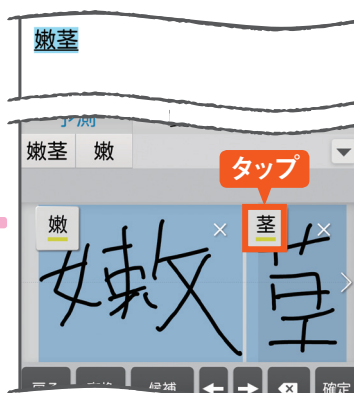
「嫩草」という単語を入力してみましょう。ソフトキーボードの左下にある「あ A1」を長押しして、表示されたメニューの下方にある「手書き入力」をタップします。

2 文字を手書きする



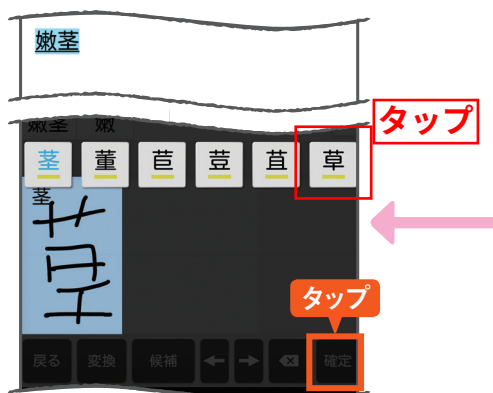
入力用のマスが表示されるので、そこに文字を指で書きます。書き終わったら指を離せば、漢字の候補が表示されます。正しければ、隣のマスに次の文字を指で書きましょう。

3 間違った認識を修正する



次の文字は、「草」なのに「茎」と認識されています。そのような場合は、手書き文字の左上にある「茎」の部分の部分をタップします。

4 正しい漢字を選択する



候補の中から、正しい漢字をタップします。一覧にない場合は、もう一度手書き入力してみましょう。「確定」をタップすれば完了です。

文章の中に「絵」を記入して、感情を伝えたり装飾したりすることが出来ます。その「絵」には「絵文字」と「顔文字」の2種類があります。

絵文字は、文字通りイラストのような「絵」そのもので、豊かな表現ができます。ただし機種ごとに表示が変わったり、パソコンでは表示できなかったりするのです。送るときには相手が正しく読めるか確認する必要があります。

顔文字は、文字を組み合わせで作られたもので「アスキーアート」ともいいます。通常の文字を並べただけなので、パソコンやSNS、掲示板などでも使えるのが特徴です。



文章に絵文字や顔文字を入力する方法は？

A 絵文字モードにするか「かお」
「かおもじ」で変換



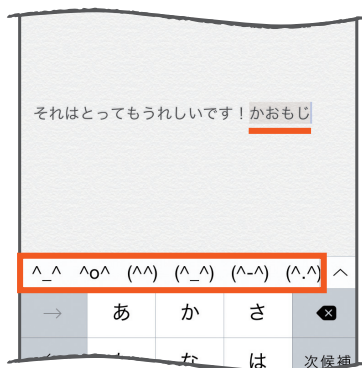
iPhone

1 絵文字モードにする



ソフトキーボード左下の「地球」アイコンを何度かタップすると、この絵文字モードになります。入力する絵文字をタップしましょう。「ABC」や「あいう」のタップで戻ります。

2 「かお」「かおもじ」で変換する



または、かな入力モードで「かお」と入力して変換すれば候補として絵文字が表示され、「かおもじ」と入力して変換すると顔文字を表示することができます。



Android

1 絵文字メニューを表示する



ソフトキーボードの左下にある「記」をタップし、「絵文字」をタップすると、絵文字が一覧表示されます。「▼」をタップすると、他の絵文字も表示できます。

2 顔文字メニューを表示する



「(^o^)」をタップすると顔文字モードになります。なお、絵文字メニューや顔文字メニューが表示された状態でも、かなや英数字の入力は可能です。

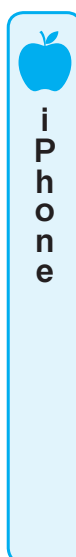


本体内にあるという説明書の読み方は？

A 事前に
インストールや
更新をしておきましょう

外出先などでスマホやタブレットの使い方がわからなくなっても、取扱説明書をいつも持ち歩いている人のほうが少ないことでしょう。ネットにつながらない場所では、検索して調べることができません。iPhoneやXperiaは、本体内に取扱説明書を入れておき、電子書籍のようにいつでも読むことができます。

本体内にあるのでネットに接続してなくても読むことができますが、iPhoneは事前にダウンロードしておく必要があります、Xperiaも更新分についてはダウンロードが必要で、その場合はネットに接続している必要があります。



1 iBooksで入手する

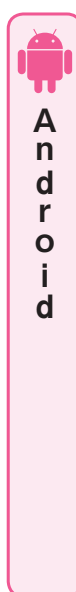


「iBooks」アプリを起動し、「検索」をタップして検索欄に「ユーザガイド」と入力。「iOS8.3用 iPhone ユーザガイド」の「入手」→「ブックを入手」をタップして入手します。

2 iBookの本棚から 選択して読む



「ブック」をタップすると、本棚に「iOS8.3用 iPhone ユーザガイド」があり、タップすると開けます。ページめくりは左右のフリックです。

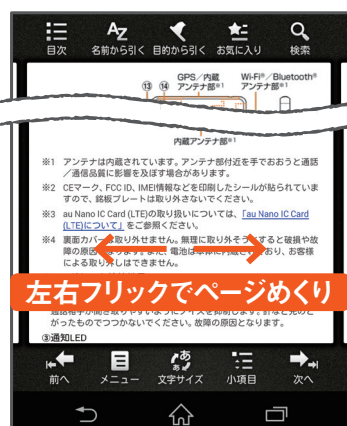


1 「取扱説明書」を 起動する



アプリ一覧画面から「取扱説明書」アイコンをタップします。初回は「Google Play」の画面になり、そこでダウンロードする必要があります。

2 取扱説明書を読む



2 回目以降は「取扱説明書」アプリが起動して、ページを左右にフリックすることで読むことができます。